OpenDNSへのアウトバウンドNetBIOSトラフィックの防止

内容

はじめに

このドキュメントでは、OpenDNS宛てのアウトバウンドNetBIOSトラフィックを停止する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Umbrellaに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

問題

Windowsシステムでは、OpenDNSが標準のNXDOMAIN応答の代わりに制御されたホストのIPアドレスを返すときに、NetBIOSトラフィックをOpenDNSに送信しようとします。Windowsはこれを有効な応答と解釈し、OpenDNSとのNetBIOS通信を開始します。

解決方法

OpenDNSへのアウトバウンドNetBIOSトラフィックを防止するには、次の手順を実行します。

1. ダッシュボードの詳細設定にアクセスします。

2. VPNユーザの場合は、Domain Typos > Exceptionsに移動します。

3. ネットワーク上のシステムの完全なホスト名を例外リストに追加します。

このリストに追加されたホスト名は、OpenDNSサービスによって検索されません。

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。